



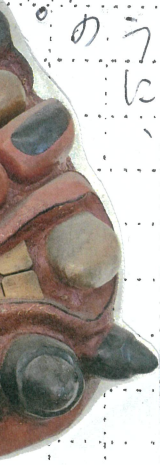
な
せ？

といえは
鬼！

鬼！
といえは

茶屋町！

こんなふうになつたといふに言われるくらゐ
 茶屋町の代神様の秋祭りには「鬼」はつきものだった。
 鬼の出る祭りが始まつたのは一七九〇年ごろではないか
 と言われている。これは、茶屋町が干拓された一七〇七年
 から、ほぼ八十年も後だから、おそらく、干拓から時間がたつ
 ようやく村のくらしが豊かになつたころ、箱崎神社や佐々
 神社の秋祭りが盛大に行なわれるようになったの
 だろう。



巨大



茶屋町馬の鬼!

茶屋町
駅前
の
記念
碑



鬼の由来は吉備津彦命の伝説にかかありがあるのではないかと
 そう説かある。
 おかし統社のつ鬼の城に住
 んでいらつうらしという強い鬼
 は吉備津彦命の家来の神様とい
 て吉備津神社の境内にまつられ
 っうしとりみさきしと告られて
 有名だつた。
 そのつうしとみさきし加早
 島の鶴崎神社にまつられたこと
 から、その伝子である早島や帯
 江の人々はつうらしにちなんで
 鬼面をつけて、村の中をおり歩
 いた。
 そして、茶屋町が干拓された
 後に早島や帯江から移り住んだ
 村人たちが、その人たちの出身
 地を行なわれていたつ鬼の風
 習を茶屋町に伝えたのびばちい
 かと言われている。

鬼女なの？

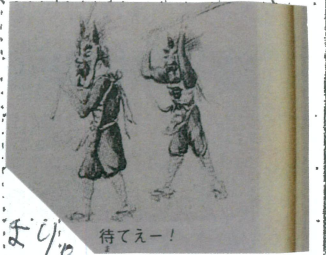
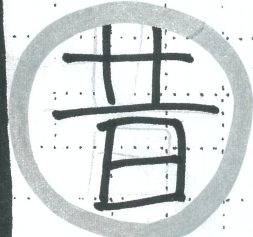
日呂和50年23
現在

鬼祭(1)

約200年前 ~
昭和30年迄



写真 くらしき地域資源にラムHPより。



〔絵〕親と子の茶屋町史より。

鬼は下駄を鳴らし、子鹿を歩く。子鹿は、七鬼よ、ぼろぼろしと、はせし立てる。鬼は、え供を連れかける。明治、大正のころは若者、昭和三十一年ころは子供が主役の祭りにはなつた。

戦後の混乱で姿を消した鬼が昭和五十年に復活!!

★鬼面と鬼の服を着用し、鬼の通行手形を持つ★昭和六十年ころからは鬼おどりや鬼太鼓が盛な前鬼の店★現在、お祭り

後記
江戸時代から続き一層
は消滅し復活した茶屋
町の鬼が再び消えないように
これからは僕達で鬼を守り風
習を残したいと思ひました。



↑ 瀬戸大橋開
通記念に作ら
れた巨大な鬼
面と解説板。

← 茶屋町の既
前場にお子
供のるの大像

民公町屋茶館のホール



鬼は、茶屋町の
あちこちに。